

中学生連載企画
私たちのふるさと
松山学 No.37

小野中学校

歴史に触れる 小野地区めぐり

私たちは、1年生の時に総合的な学習の時間で、小野公民館の発行する「小野ふるさとまっぷ」を基に小野地区を巡り、地元の歴史について調べました。

ました。

明星院

明星院は雄大な自然に囲まれた場所にあります。昔は、4キロほど北の高棚山の頂上近くにあったそうですが、天正6（1578）年に火事で焼けてしまい、今の場所に移されました。本尊は救世観音菩薩で、妊娠した人が無事に出産できるように祈られていた仏像です。



小野地区めぐりの様子

小野地区の歴史
小野村誕生から
松山市へ

小野地区は、「北梅本村」・「南梅本村」・「水尻村」・「小屋峠村」・「苅屋村」・「平井谷村」・「畑中村」の7つの村に分かれていました（北梅本村と南梅本村は延享3（1746）年に梅本村が分離が、明治22（1889）年に町村制が施行され、小野村となりました。7つの村が一つの村になったとき、村の中央には「小野川」が流れ、近くには「小野小学校」もあったことから、「小野村」という名前になったといわれています。そして、昭和36（1961）年に松山市に合併され



救世観音菩薩 (中央)

この観音像は、かつて小野地区のシンボルであった与力松を使って、小野出身の大西努さんが作りしました。本来、仏像にはヒノキやケヤキなどがよく使われるのですが、マツでできている仏像はあまりないそう

です。

与力松とは、高さ約35メートルの幹の周り約6メートル、樹齢1000年ともいわれたマツのことで、マツクイムシの被害にあい、昭和55（1980）年に枯れてしまいました。与力松の名の由来は元弘3（1333）年、土居得能軍の与力たちが大松の下で神水を飲み必勝を誓ったことからその名がついたといわれています。

また、明星院にある鐘の音はともきれいです。除夜の鐘としても使われています。

日吉神社

日吉神社はいつ建てられたのか、明らかになっていません。明治15（1882）年、再建された本殿のまわ



りを北梅本町の友澤彌三郎さんが彫った見事な彫刻が囲んでいます。特に「龍彫」は素晴らしい高等技術です。この本殿は市の指定有形文化財になっています。

葉佐池古墳

葉佐池古墳は今から1400年前に造られたもので、平成4（1992）年に発見されました。横穴式石室で、盗掘や破壊を免れ現在まで残っている古墳は、国内でも非常に珍しく、古墳の築造順序などが明らかにするなど、古墳時代後期の葬送儀礼を知ることができるといわれています。

時期	6世紀中頃	古墳情報
形	長円形(橋内)	
大きさ	長さ約41m 最大幅約23m	
面積	2813.06㎡	
所在地	松山市北梅本町455甲2456	
指定日	平成23年2月26日	



調べ学習で使った「小野ふるさとまっぷ」



は3人の遺体が発見され、その中の1人には、2種類のハエの卵や蛹が付着していました。この付着していたハエの習性から、古墳時代の葬祭儀式「モガリ」が1週間から10日ほど続いたことがわかりました。

子規両面句碑

子規の俳句が両面に刻まれている句碑。

巡礼の
夢を冷すや
松の露

明治24（1891）年8月19日、帰省中の子規が友人の3人と唐岬と白猪の滝見物に出かけ、平井町畑中の老松の下で休憩中に詠んだ句。

裏

茸狩りや
浅き山々
女連れ

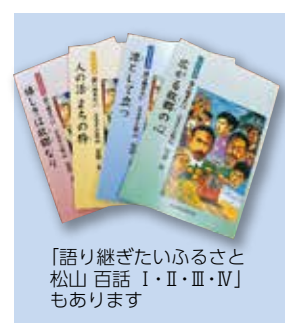
明治33（1900）年11月30日の新聞「日本」に掲載された句。平井町は当時、松茸市で賑わっていました。



伊予鉄平井駅にある子規両面句碑

先人と文化の読み物教材
広がれ！
ふるさと松山の心

松山ゆかりの先人78人と伝統文化や歴史のお話17話を掲載しています。購入方法など詳細は市教育研修センター事務局 ☎98915144へお問い合わせください。



「語り継ぎたいふるさと松山 百話 I・II・III・IV」もあります



(左上から) 村上 椿さん、丹生谷 美零さん、河野 愛生さん、堀内 杏さん、安岡 連人さん、中尾 亮介さん、古田 斗希さん、奥村 峻大さん

小野めぐりで知らなかったことを知ることができて勉強になりました。自然や歴史にあふれた小野で過ごすことを誇りに思っています。ぜひ、皆さんにも小野地区に興味を持ってもらい、昔の人たちの知恵や工夫を感じてもらいたいです。



ふるさとまっぷを手に史跡を巡る